

12. 胆道がん

○: 専門とするがん △: グループ指定により対応しているがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり △: グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×: なし ○

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数	治療の実施状況(○: 実施可/×: 実施不可) / 昨年の実績(あり/なし) ※平成25年1月1日~12月31日				各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ						
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術		化学療法	放射線療法		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容		
							体外照射	小線源治療		治療内容	治療実績	医師の 専門 分野
1	消化器外科	8	2	状況 ○	○	○	×	日本肝胆膵外科学会高度技能指導医が在籍。胆道(胆嚢・胆管)がんに対しては根治性や予後向上を目指して術前化学放射線療法を実施し、根治切除後も術後補助化学療法を追加し予後改善に努めています。肝・胆・膵がん手術数: 年間約50例	ア http://www.city.higashiosaka.lg.jp/0000001957.html			
				実績 あり	あり	あり	なし	http://				
2	消化器内科	8	3	状況 ×	○	○	×	日本消化器病学会消化器病専門医、消化器内視鏡学会指導医、日本肝臓学会肝臓専門医・指導医が在籍しています。内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)、閉塞性黄疸に対する経皮的または内視鏡的胆道ドレナージやステント留置も実施しています。	ア http://www.city.higashiosaka.lg.jp/0000002010.html			
				実績 なし	あり	なし	なし	http://				
3				状況					ア http://			
				実績					イ http://			
4				状況					ア http://			
				実績					イ http://			
5				状況					ア http://			
				実績					イ http://			

グループ指定を受ける施設との連携状況 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること	
---	--

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例: 胆管がん、胆嚢がん 胆管がん、胆嚢がん
------------------------------------	---------------------------